



## 人間の祖先は最初は何だったの

### 祖先が、最初、どんな生き物だったかはよくわからない

今、わたしたちの祖先にちがいないとみられている最古の化石は、今から400万年前から250万年ほど前にかけて、東アフリカにすんでいた、「アファール猿人（アウストラロピテクス・アファレンシス）」とよばれるものです。

このアファール猿人が子孫を残しながら、次の世代へとつないでくる間に、少しずつ体のつくりや形が変化して、現在のわたしたち人間が、生まれてきたと考えられています。しかし、さらに、このアファール猿人の祖先が、どんなだったかについては、化石が発見されていないため、それ以上はよくわかっていないのです。

そのため、すべての動物が、同じ祖先から、どのように分かれて進化してきたのか、共通の祖先がどんな動物だったのかについては、まだ、よくわかっていないのです。

### 人間とサルの仲間とに分かれたのは進化の問題

わたしたちが、今、生きているのは、わたしたち人間の祖先の命が、親から子へ、子から孫、孫からひ孫というように、次々とバトンタッチされてきたからです。

このバトンタッチが、何万回も何十万回もくり返されるうちに、人間など生き物は、体のつくり（構造）や形が変化していきます。このことを「進化」といいます。

人間とサルの仲間は、共通の祖先から、何千年、何万年という長い時間をかけて、人間は人間として進化し、サルはサルとして進化してきたのです。（監修・保志 宏）

